

長穴隅付タンク用ボールタップ

このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

注意

- この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。
- 施工後は必ず試運転を行ってください。

安全のために守ってください！

ボールタップを安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。
施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

用語の説明

注意・・・ 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

注意

止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行ってください。
※ 漏水により家財等をぬらす恐れがあります。



指示実行

サプライ管の接続は確実に行ってください。
※ 袋ナット（上）の締め付けが不十分ですと漏水の原因になります。



指示実行

ボールタップが回転しないように手で固定しながら、袋ナットを締め付けてください。
※ ボールタップが回転すると、浮玉がタンク側壁と干渉して止水不良の原因になります。



指示実行

●この取替用ボールタップは…

- ① ご使用の古くなったボールタップを新しく交換できます。
- ② 右給水タイプにも対応できます。
- ③ 本製品は 1980 年以降の長穴隅付タンク（タンク正面に U 字ラインがあるタンク）が、対象となります。
※ 1979 年以前の長穴隅付タンクは、現在の性能条件を満たさないため、取り付けできません。

取付対応タンク（便器）

●取り付け可能なタンク
フタの排水穴が長い。

タンク正面に U 字ラインがある。

タンク品番	T-870
	DT-870
	DT-873
	T-876
便器品番(参考)	C-4、C-4K
	C-P13(S、P)
	C-11
	C-13
	C-19
	C-35T、C-35K
	C-250B
	C-252(B)
	C-254(B)
	C-282B
	C-284B

●取り付けできないタンク

タンク正面に U 字ラインがない。

タンク品番	T-470
	DT-470
	T-471
	T-472

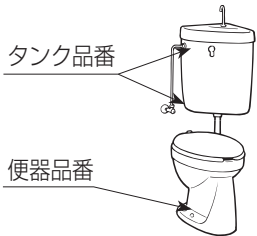
当社代替可能ボールタップ

TF-870B
DTF-870B
TF-870BN
DTF-870BN
TF-871B
TF-876B

TF-21Bで代替できます。

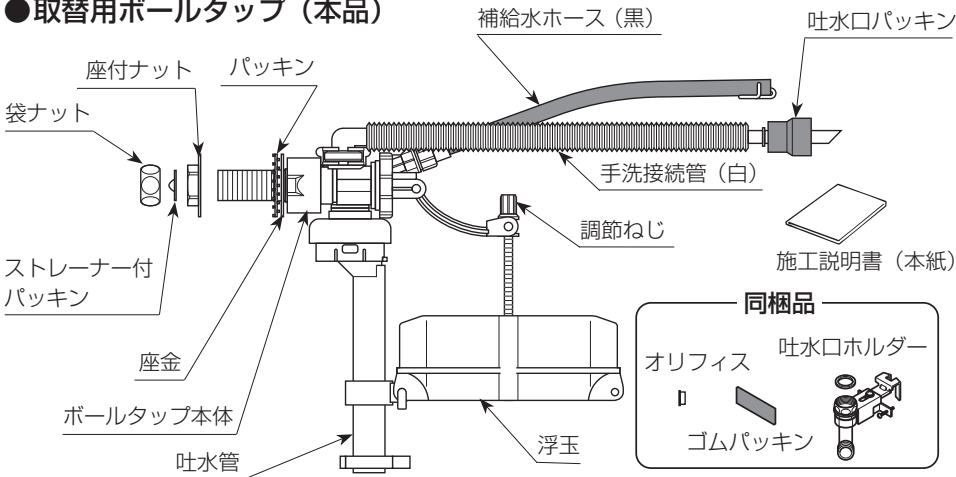
※タンク品番の確認

タンク品番は、タンク正面、もしくは左側面に付いています。

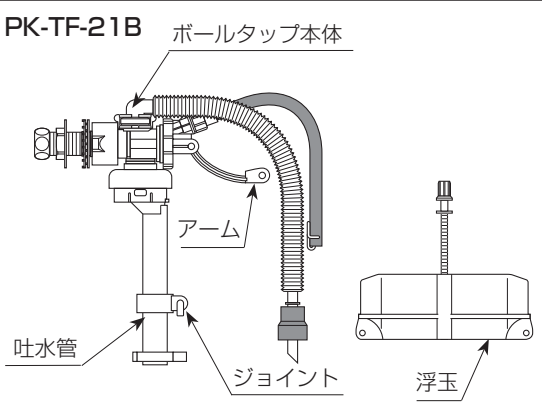


部品の確認（梱包状態）

●取替用ボールタップ（本品）



※ PK-TF-21B の場合、本体と浮玉が外れて梱包されていますので、上図を参考にして取り付けてください。



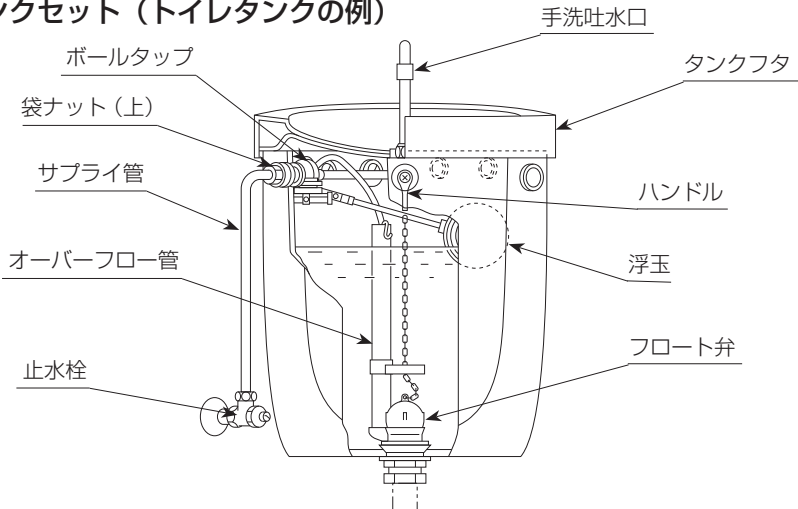
※ 手洗吐水口は既設品を使用します。取り替える場合は、品番：A-662（寒冷地用：A-5262）をお求めください。

※ 本品に交換後、タンクフタが浮いてしまう場合は、下記部品を別途手配して取り付けてください。（取付方法は注意 17 をご確認ください。）



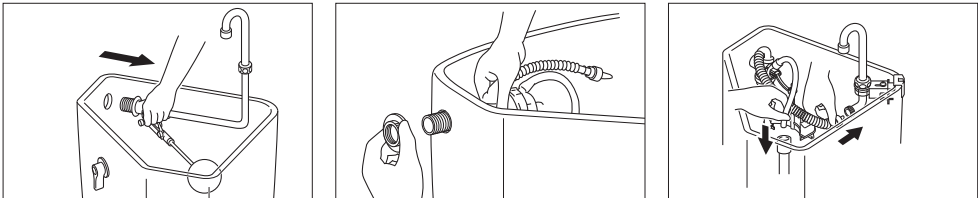
各 部 の な ま え

●タンクセット（トイレタンクの例）



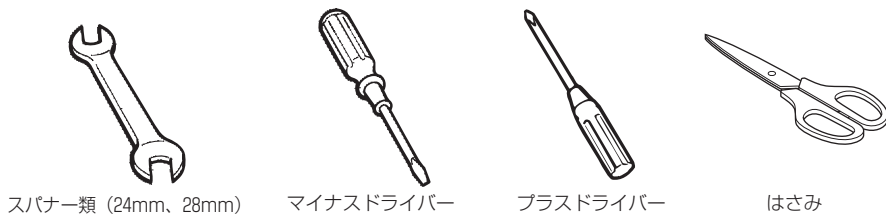
●次の手順の流れで作業します。

例）手洗付補給水ホース付タンクへの取付け



1. 古いボールタップを取り外します。
2. 取替用ボールタップをタンクに取り付けます。
3. 手洗吐水口をタンクに付け、手洗接続管の先端を手洗吐水口の接続パイプに取り付けます。

準 備 工 具



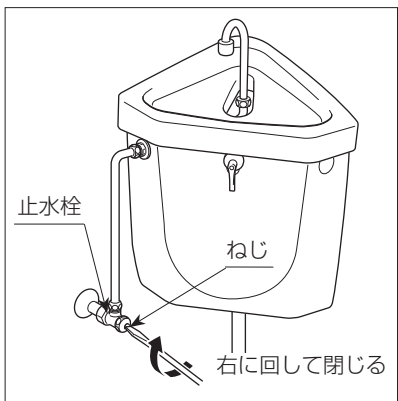
施工方法

1 古いボールタップの取外し

- (1) 止水栓のねじをマイナスドライバーで右に回して、給水を止めます。

※ 止水栓はタンクの左、または右にあります。

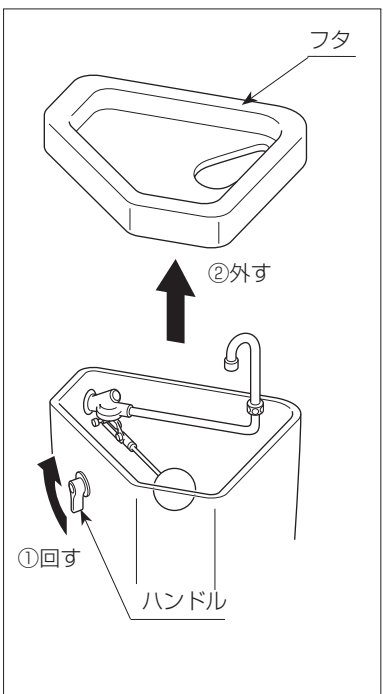
注意 1 参照



- (2) タンクのハンドルを回して、タンク内の水を抜きます。

注意 2 参照

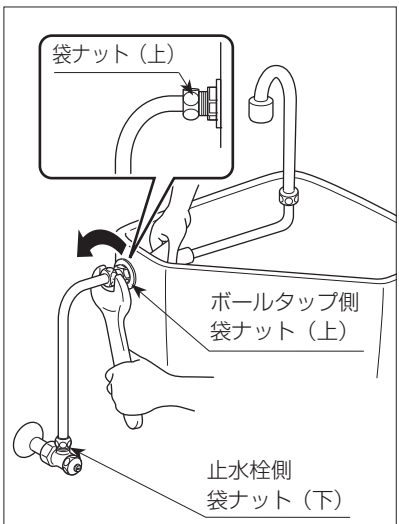
- (3) タンクフタを持ち上げて外し、安定した場所に置きます。



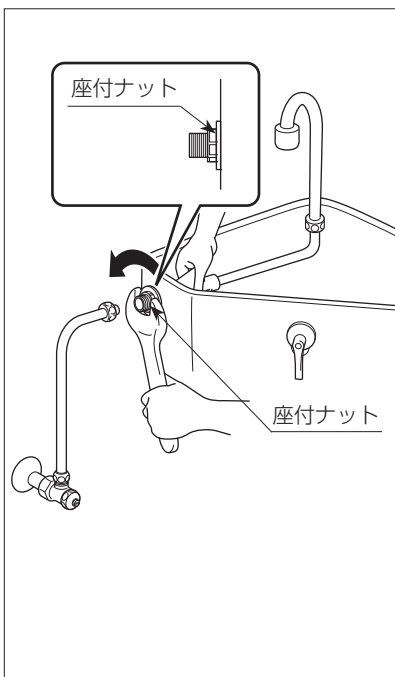
- (4) タンク外側横にあるボールタップ側の袋ナット（上）を、工具を使ってゆるめます。

※ このとき、少量の水がこぼれることがありますので、ぞうきん等を下に置いてください。

注意 3 参照



- (5) タンク外側の座付ナットをゆるめて、古いボールタップを外します。



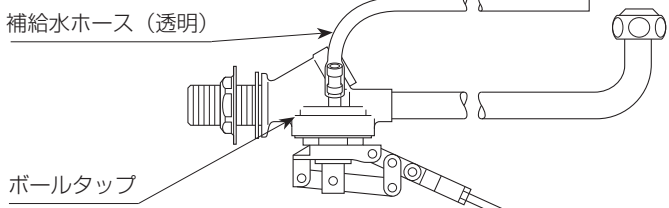
2 新しい取替用ボールタップの準備

新しい取替用ボールタップの取付準備をします。

ご使用のボールタップの種類を確認してください。種類によって準備方法が異なります。

■ 補給水ホース（透明）がある場合

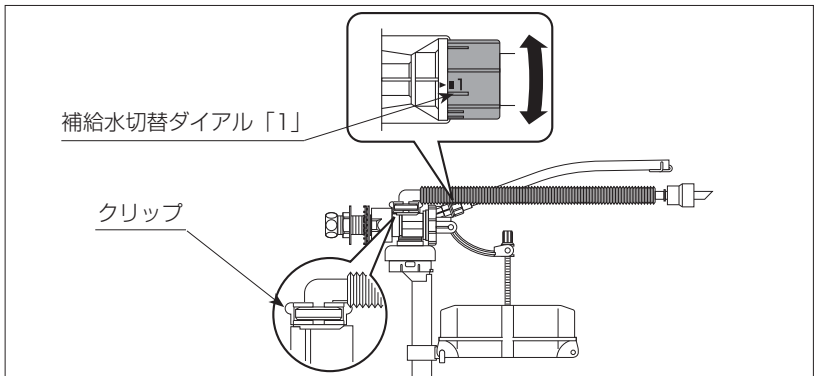
〈古いボールタップ〉



- (1) 取替用ボールタップ上部の補給水切替ダイヤルを「1」の位置に合わせます。

※ 「0」「2」は使用しません。

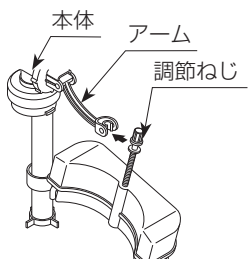
注意 4 参照



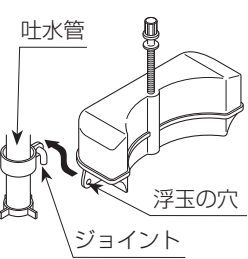
■ 止水栓がタンクの右にある場合

ご使用のタンクの止水栓が右にある場合は、ボールタップの浮玉を左右組み替える必要があります。

- (1) 本体のアームから調節ねじを外します。



- (2) 吐水管のジョイントから浮玉を外します。



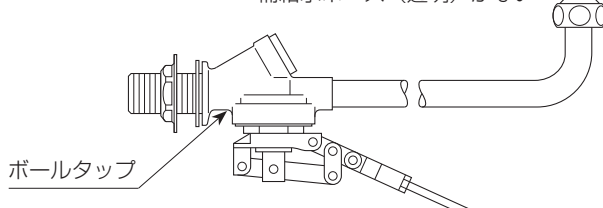
- (3) 浮玉を左右反転させ、逆の手順で組み付けます。

注意 5 参照

■ 補給水ホース（透明）がない場合

〈古いボールタップ〉

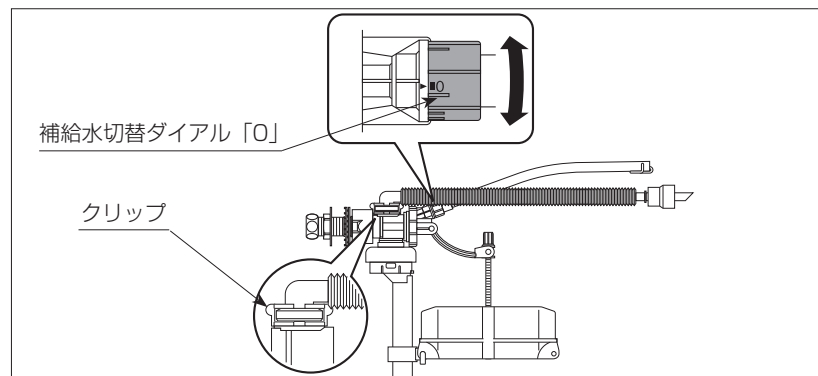
補給水ホース（透明）がない



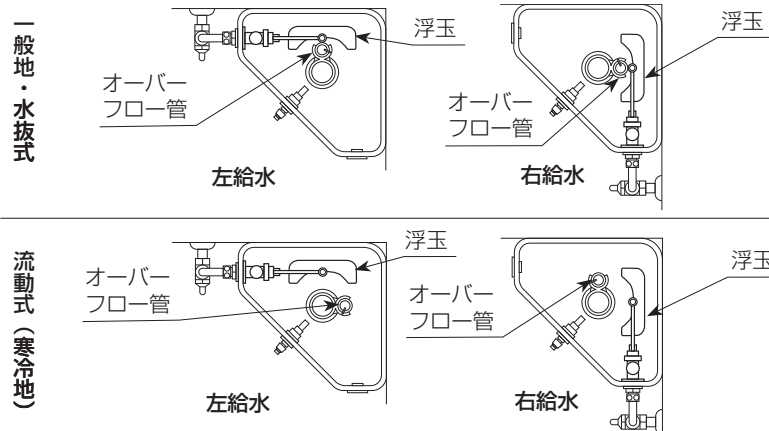
- (1) 取替用ボールタップ上部の補給水切替ダイヤルを「0」の位置に合わせます。

※ 「1」「2」は使用しません。

注意 4 参照



タンク取付状態（上から見たところ）



注意 1

このとき止水栓ねじの最初の位置を覚えておいてください。（何回転させたかメモしておいてください。）

止水栓は適切な水量に調節されているので、作業後に元に戻す必要があります。

注意 2

このときボールタップから水が出ないこと（以下の事）を確認してください。

● 手洗管から水が出ない。

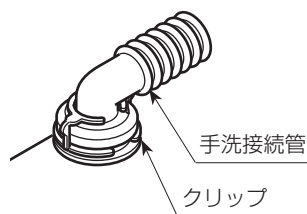
注意 3

このとき止水栓側の袋ナット（下）をゆるめないでください。

※ ゆるめると漏水の恐れがあります。

注意 4

手洗接続管の根本がクリップで、しっかり接続されていることを確認してください。



注意 5

浮玉の方向を、ご使用のタンクに合わせて必ず組み替えてください。

※ 組み替えないと、オーバーフロー管が干渉して作動不良の恐れがあります。

※ オーバーフロー管の向きは、組み替える必要はありません。

注意 6

座付ナットは、ボールタップがぐらつかない程度に締め付けてください。

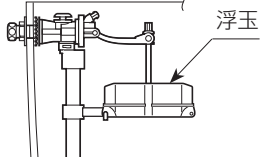
※ 締めすぎると、陶器（タンク）が割れる恐れがあります。

注意 7

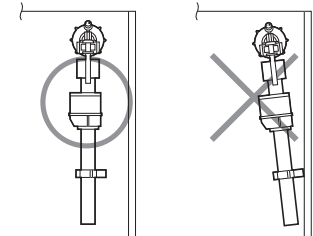
座付ナットの締め付け時には、ボールタップが回転しないように手で押さえながら締め付けてください。

※ 浮玉がタンク内壁やオーバーフロー管に干渉すると、作動不良になる場合があります。必ず浮玉がスムーズに作動することを確認してください。

正面



横から見たボールタップの向き



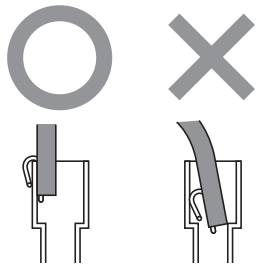
注意 8

ストレーナー付パッキンがはさまれていることを確認してください。

※ ストレーナー付パッキンがない場合、漏水する恐れがあります。

注意 9

必ずクリップでオーバーフロー管に取り付け、差し込みすぎないようにしてください。



注意 10

手洗接続管の出口は必ずタンク内の下に向けてください。

※ 上に向いていると、タンクの外に水が飛び出す恐れがあります。

注意 11

止水栓ねじをメモしておいた元の位置にしてください。

注意 12

10mm 以上上昇する流量だと、万が一ボールタップが故障した場合、床に水があふれる恐れがあります。

注意 13

水位が「W.L.」に合っていない場合は、調節ねじで水位を合わせてください。

※ 水位が合っていないと、水が止まらなかったり、便器に汚物が残りがちになります。

3

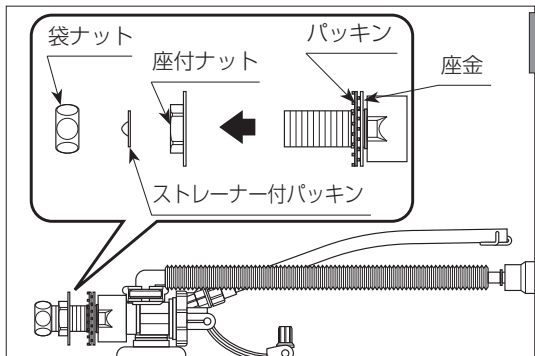
新しい取替用ボールタップの取付け

(1) 新しい取替用ボールタップから袋ナット、ストレーナー付パッキン、座付ナットを外します。

※ パッキン（黒）と座金は、差し込んだままにしてください。

※ 外した袋ナットは使用しません。

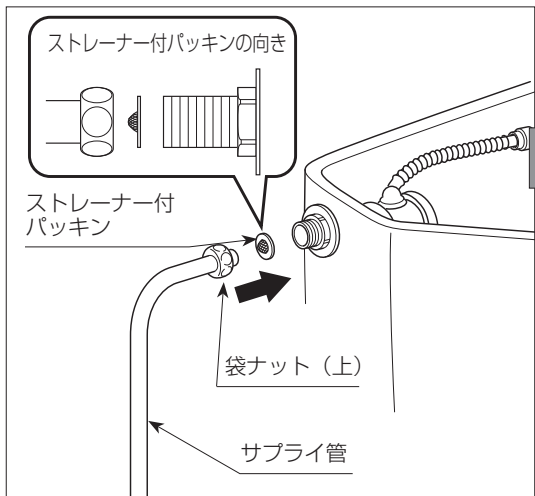
※ ストレーナー付パッキンは使用します。



(4) ストレーナー付パッキンをはさみ込み、ボールタップにサブライ管を袋ナット（上）で取り付けます。

※ 寒冷地の場合、後述の【止水栓がない場合】を確認してください。

注意 8 参照



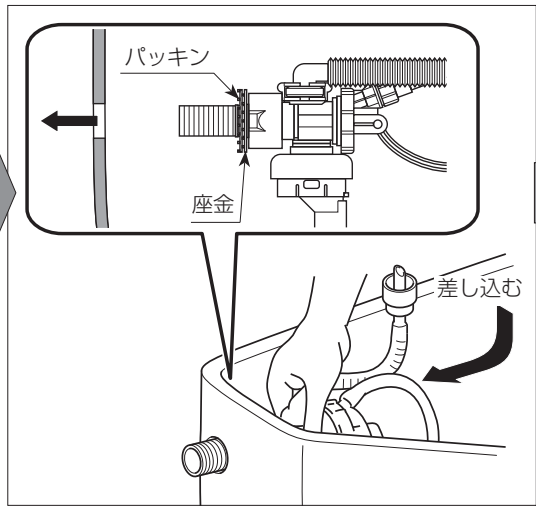
注意

サブライ管の接続は確実に行ってください。
※ 袋ナット（上）の締め付けが不十分ですと漏水の原因になります。

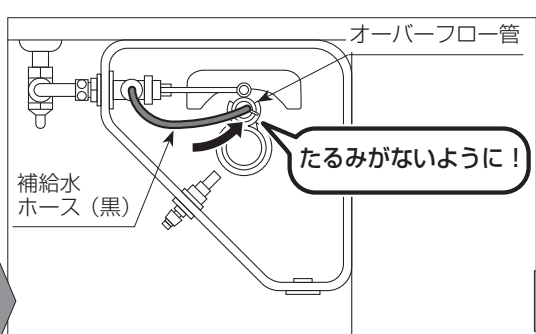


指示実行

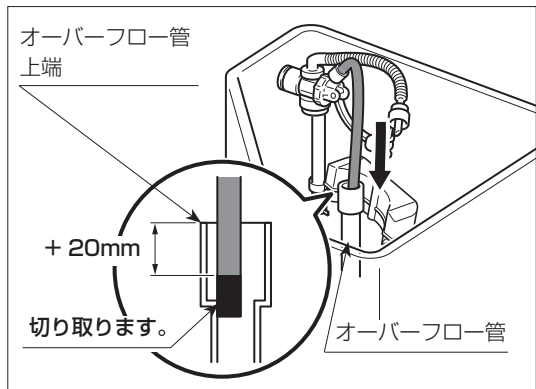
(2) 新しいボールタップに座金・パッキンを差し込んだ状態で、タンクの取付穴に内側から差し込みます。



(5) 補給水ホース（黒）をオーバーフロー管に、たるみがないように差し込みます。

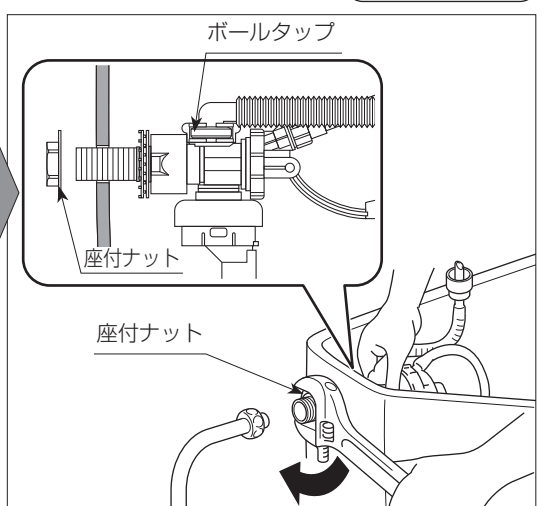


(6) たるみがある場合は、補給水ホースをたるみなく差し込んだ状態で、オーバーフロー管上端から 20mm 余裕を取った長さを確認します。



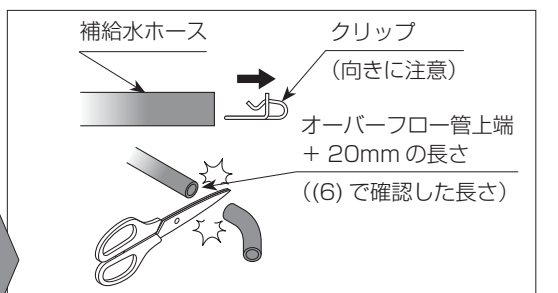
(3) ボールタップが傾かないようにして、タンクに垂直に外側から座付ナットで取り付けます。

注意 6,7 参照



(7) 一旦、補給水ホースを抜いて、先端のクリップを外します。

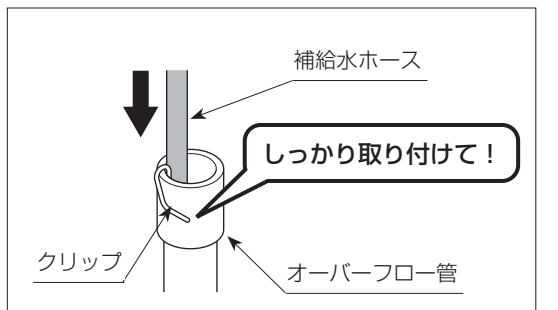
(6) で確認した長さで、補給水ホースをはさみで切り取ります。



(8) クリップを元通り、補給水ホースの先端に取り付けます。

(9) 補給水ホースをオーバーフロー管に差し込み、クリップでしっかり取り付けます。

注意 9 参照

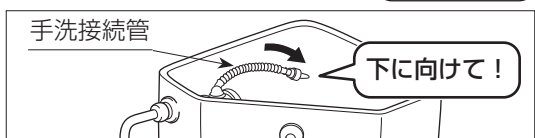


4

通水

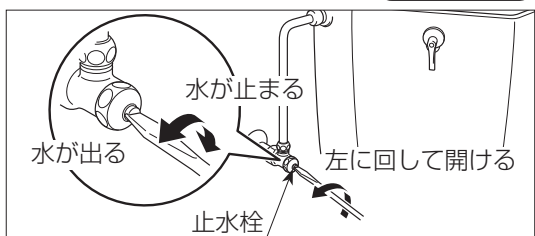
(1) 手洗接続管の出口をタンク内の下に向けて付けます。

注意 10 参照



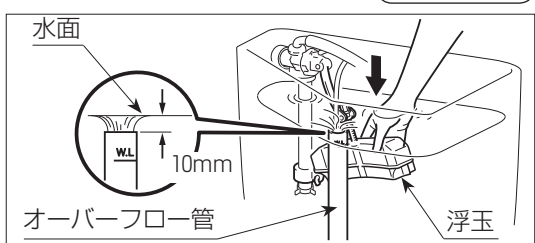
(2) 止水栓のねじをドライバーで左に回してタンクへ通水します。

注意 11 参照



※ 止水栓ねじの位置がわからなくなった場合は、ボールタップの浮玉を押し下げ、水を出し放しにしたときに、水面がオーバーフロー管より 10mm 以上上昇しない程度に止水栓で流量を調節します。

注意 12 参照



5

止水位の確認

水が止まったときに、タンク内の水位がオーバーフロー管の「W.L.」マークに合っていることを確認します。

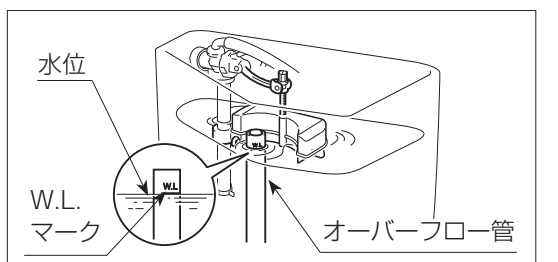
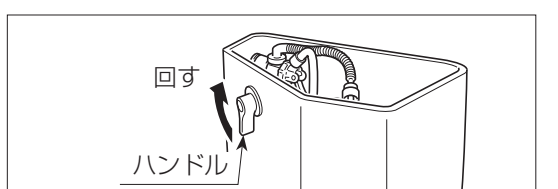
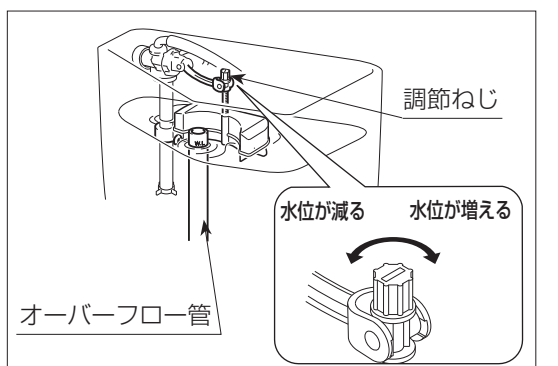
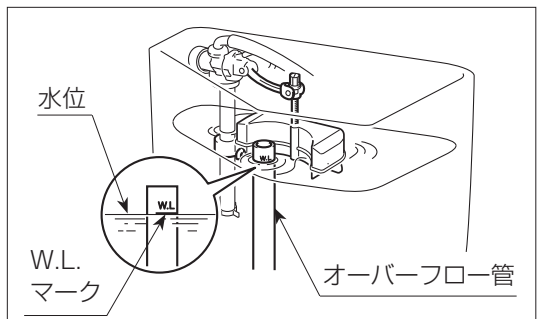
注意 13 参照

【水位が合っていない場合】

① 浮き玉の調節ねじをマイナスドライバーで回して、水位を調節します。

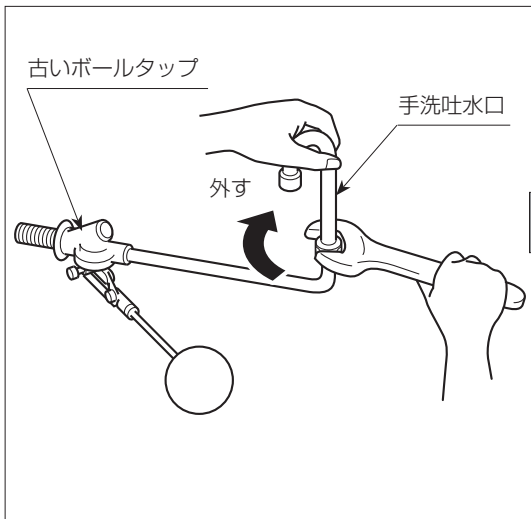
② タンクのハンドルを回して、便器洗浄します。（大洗浄、またはしばらくハンドルを回し続けて洗浄してください。）

③ 水が止まったとき、タンク内の水位がオーバーフロー管の「W.L.」マークに合っていることを確認します。

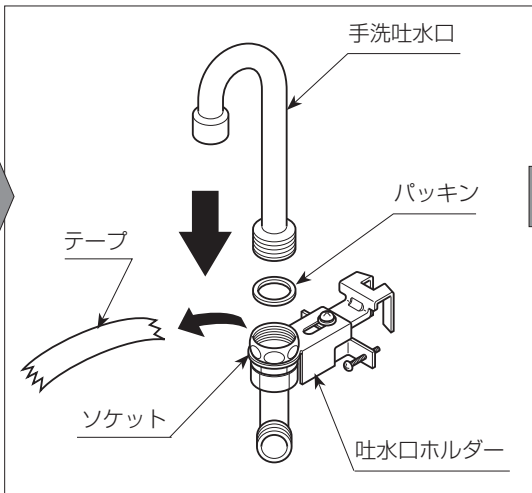


6 手洗吐水口とタンクフタの取付け

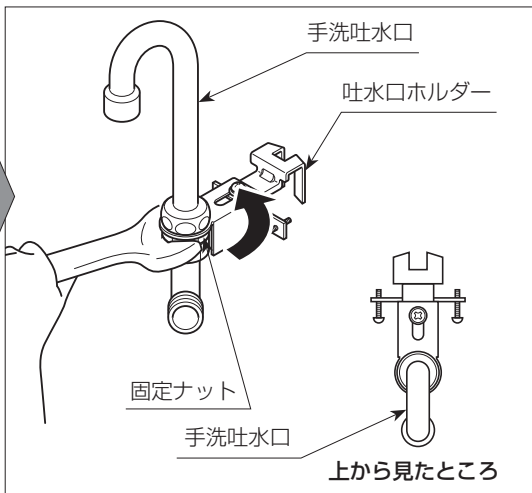
(1) 古いボールタップから手洗吐水口を外します。



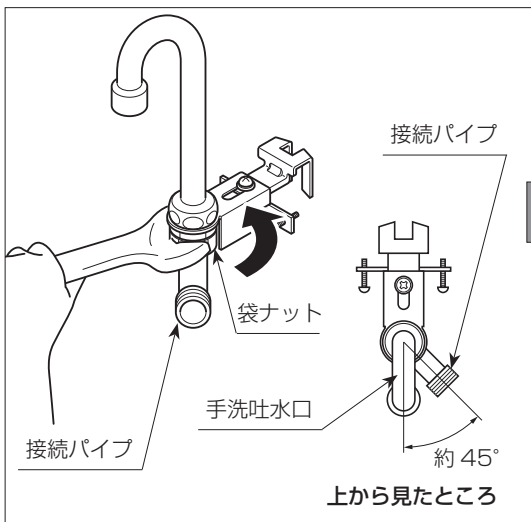
(2) 吐水口ホルダーのテープをはがし、ソケットの中に入っているパッキンをはさみ、手洗吐水口をねじ込みます。



(3) 手洗吐水口が正面を向くように、固定ナットで手洗吐水口を吐水口ホルダーに固定します。

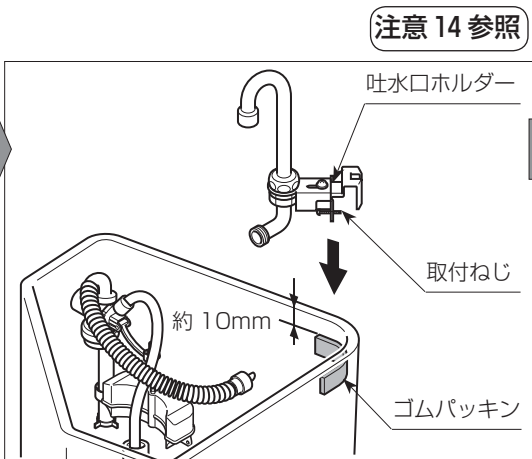


(4) 接続パイプが正面から見て約 45° 斜めになるように、ソケットに取り付けて袋ナットで固定します。

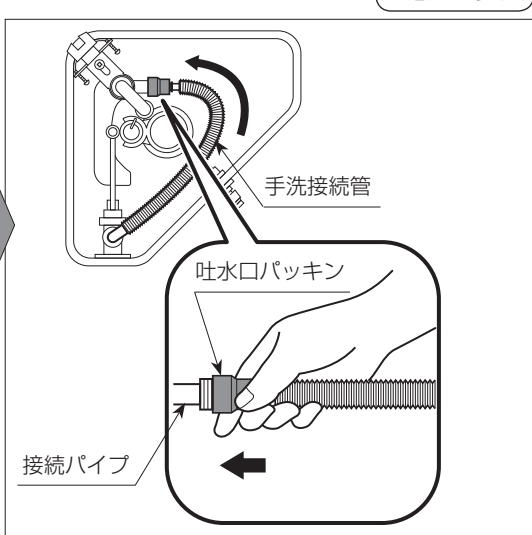


(5) ゴムパッキンの両面テープをはがし、タンクの上端から約 10mm あけて貼り付けます。

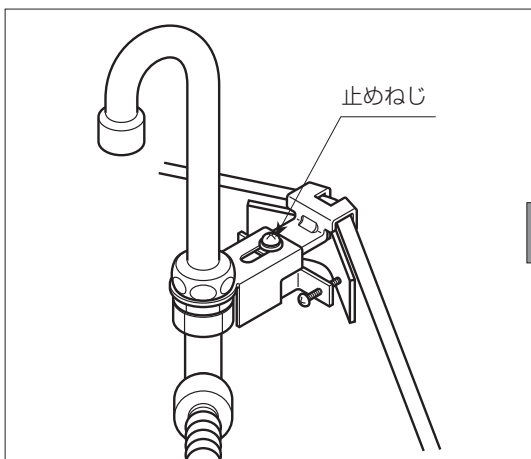
(6) 吐水口ホルダーをタンクに取り付け、取付ねじでしっかりと固定します。



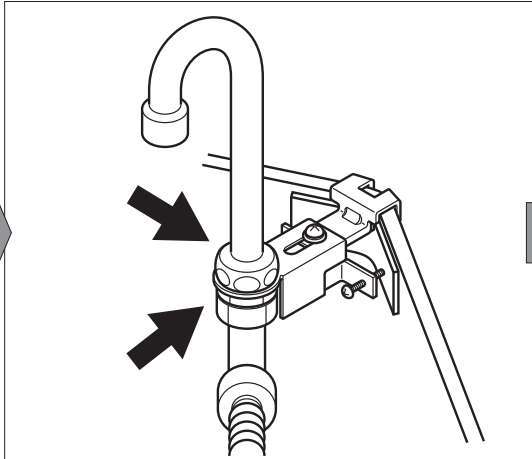
(7) 手洗接続管の吐水口パッキンを持ちながら、先端を接続パイプにしっかりと差し込みます。



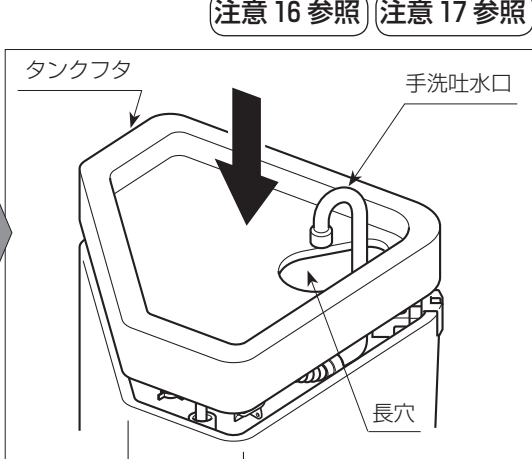
(8) 吐水口ホルダーの止めねじをしっかりと締め込みます。



(9) 手洗吐水口と吐水口ホルダーの接続部から水漏れがないか確認します。



(10) タンクフタの長穴に手洗吐水口を通して、タンクにタンクフタを載せます。



7 施工後の確認

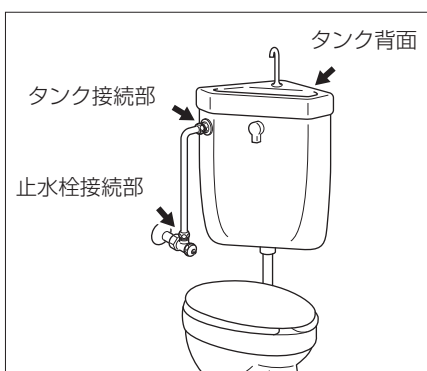
(1) ハンドルを 2 ～ 3 回操作して、便器洗浄し、水が止まることを確認します。

また、手洗吐水口から水が出ることを確認します。

※ 水圧によっては、取替前後で手洗水が少なめになることがあります。故障ではありません。



(2) 接続部からの水漏れがないか確認します。

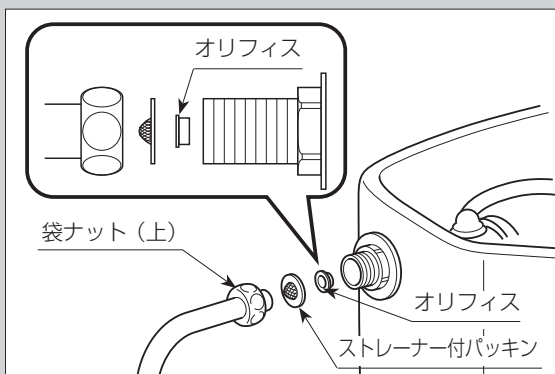


以上で、ボールタップの交換作業は完了です。

【止水栓がない場合】

寒冷地では、止水栓がない場合があります。

- 給水を止めたり、開けたりする場合は、水道の元栓等で行ってください。
- 給水圧力が高く (0.2MPa 以上)、給水音が大きい場合には、同梱のオリフィスを右図のように取り付けてください。



注意 14

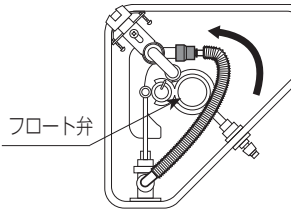
取付ねじの締付けは片利きのないように左右くりかえし、少しづつ行ってください。
※ 破損の原因になります。

注意 15

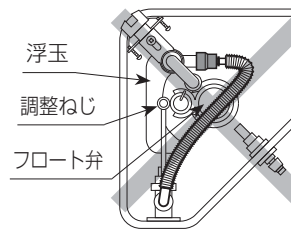
手洗接続管はフロート弁の外側から取り回し、浮玉や調整ねじ、ハンドルに被さらないように取り回してください。

※ 浮玉や調整ねじに被さると、浮玉が正常な位置まで上がらずに水が止まらなくなる恐れがあります。

フロート弁の外側に沿わせる



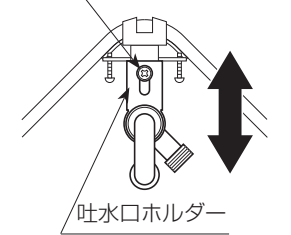
浮玉や調整ねじに被さらない



注意 16

タンクフタが手洗吐水口に当たる場合は、いったんフタを外し、吐水口ホルダーの止めねじをゆるめてホルダーの長さを調節してください。

止めねじをゆるめる



注意 17

タンクフタが浮いてしまう場合

傾斜パッキン (品番: (黒) 50-2686、(白) 50-2686-1) を別途手配し、下図のように付け、ボールタップがタンク下側に傾くように取り付けてください。

※ 取替用ボールタップに最初から付いているパッキンは外してください。

※ 傾斜パッキンの取り付け向きに注意してください。

